

## 土浦の自然を守る会経過報告

(四十八年一月から五月迄)

3月1日 桜川第三号発行。

3月10日 水戸の茨城県自然保護協議会の呼びかけを受

裏筑波の稜線林道第一期工事区間を歩く。

(湯袋峠から上曾峠)。途中さまざまな野鳥

や沢蟹、野草を観察。帰途、自然保護協議会

の一行が事務所(佐賀宅)に寄り、懇談。

3月24日 「桜川のごみを拾おう」という呼びかけのプ

リントを持って、執行部員が大町、桜町、富

士崎町、大和町、駅前を回る。「ごくろうさ

ん」と声をかけてくれる人が多かった。

3月25日 朝九時に、匂橋附近に集合、土手や河川敷の

ごみを拾う。百五十名余りが参加。特にこど

もの参加者が多かった。下高津のことも会は

こぞって来てくれた。田宿の母の会の人々も

かっほり前掛け姿で参加。それに比べ、当会

の参加者は二十名足らずで、寂しかった。風

が強く、刺すように冷いので、十時半で中止。

4月1日

市役所から三台の清掃車と二十余名の作業員が応援に出してくれた。

4月14日

「北筑波稜線林道に関する五つの質問」を印刷。参考資料

環境を守る土浦市民会議主催の講演会。演者は西丸震哉氏。「あなたに未来はない！」実に

ショッキングな話の内容で、環境問題の深刻な現実をさまざまと感じさせられた。しか

し、聴衆は百五十名足らずしか集まらず、も

ったいなかった。この講演内容は後日新イバ

ラキ新聞に掲載される予定です。講演終了後

土浦の自然を守る会主催で、西丸氏を囲む懇

談会が開かれた。

4月15日

「北筑波稜線林道を歩く会」。第二期工事区

間を視察。西丸氏も自然保護団体の人々とい

っしょに山道を歩く。六十七名が参加。この

日の詳細については、当機関誌に奥井登美子

さんが「北筑波稜線林道」と題して書いてお

りますのでご参照下さい。

「霞ヶ浦シンポジウム開催」の呼びかけが

日本科学者会議よりあり。

4月20日

開催は七月二十一日の予定。